

私立短期大学図書館協議会

## 会報

Bulletin of Junior College Library Association

発行者: 安部 豊巳

発行所: 私立短期大学図書館協議会

〒228 相模原市文京 2-1-1

相模女子大学短期大学部図書館内

電話: 0427-42-1411

1991. 9 No.29

## 会長就任に当たって

安部 豊巳

(あべ としみ <sup>せいとく</sup> 聖徳大学)

去る5月30日に開かれた平成三年度総会の席上で、皆様方のご推薦を受け、会長に選出されました。

これからの2ケ年間、その重責を担うことになったわけです。果たしてどれだけ皆様方のご期待に応え得るか甚だ心許ない気もしますが、幸いなことに、地区選出の理事の方々、会務の運営に常に積極的に活躍された推薦理事の方々に加えて、新進気鋭の方々も新しく推薦理事に就任して下さいましたので、それらの方々と、加盟館各位のご支援ご援助の下に、できる限りの努力をして参りたいと思っています。

今年度の活動内容は、先日の総会でご承認いただきましたように、全国規模の活動としては ①全国研修会 ②出版事業 ③地区活動の助成 を中心としたものと考えています。

全国研修会は、ここ数年継続中のテーマ「参考業務と書誌」が有用性が高いと好評なので、在京役員の方々の負担は少なくありませんが、サブテーマに変化を持たせながら今年も実施することにしています。

出版事業は特に重視しているものです。短期大学図書館関係者に、研究活動や事例発表などの場を提供している「短期大学図書館研究」は、どんな些細なことでもそれが問題発見の一步となり、問題解決に向けて何らかの糸口になればと大いに活用を期待しています。年2回刊の「会報」には、新しい工夫も用意されているようで、こちらも情報交流の場として、今まで以上に利用してもらいたいと思います。

私立短図協の組織は、全国規模の活動と地区協議会を中心とした活動とが両々相まって進展するものと考えていますので、今年度も地区協議会に対する活動助成は、可能な限り行う予定です。



本来、私立短期大学図書館協議会は、地域単位あるいは研究グループ単位の日常的活動を積極的に推進するためにつくられた組織体です。最近では、非常に活発な地域活動や、地道ではあるが継続的な研究活動も進んでいるようで、誠に喜ばしい限りです。それらが、ますます盛んになるように、この種の活動にも積極的な支援を惜しみません。

申すまでもありませんが、図書館は大学と共にあって大学教育の充実のために不可欠な存在であるはずで、図書館の発展向上が、大学教育の充実に直接的に関与する実績を、短図協の活動を通して明らかにし、図書館が大学の使命達成と合目的な関係にあることを更に示す必要があるのではないのでしょうか。

一つひとつの短大図書館はたとえ小規模だとしても、集団としてみれば全体が大きくなうねりになるような、そんなグループダイナミクスを生み出したい。そのためには、何とんでも加盟館全体のチームワークとご協力がなければ到底成果は望めないと思います。この意味からも改めて皆様方のご支援ご指導を切にお願いしてご挨拶に代えたいと思います。

# 平成3年度総会開催

## — 新会長に安部 豊巳氏選出 —

### 見学会は日外アソシエーツ（株）

日時 平成3年5月30日（木） 13:00～14:00  
 会場 鷺（おおとり）会館（東京・大森）  
 出席 50館 委任状 218館 計268館

九州（含沖縄）地区 32館（+1）  
 計 307館（+16）

注：（ ）内は平成2年度増加館数

#### ②活動報告（地区活動については会報で報告）

- 1) 平成2年度総大会開催（平成2年5月24日）
- 2) 平成2年度短期大学図書館全国研修会の開催  
 11月15～16日、目白カルチャービル、詳細は  
 会報28号および「短期大学図書館研究 第11  
 号」（1991）参照
- 3) 会報27・28号の発行と加盟館への配布、27号  
 には加盟館一覧・追補を掲載、28号はもり・  
 きよし先生追悼号
- 4) 「短期大学図書館研究」第10号の刊行と加盟  
 館への配布・第11号の編集、刊行準備
- 5) 7地区協議会への活動助成
- 6) 全国理事会および本部役員会の開催・運営
- 7) 短期大学図書館関係団体懇談会出席

#### 2. 平成2年度決算報告〈網本理事〉

別掲の会計決算資料により報告・承認

#### 3. 平成2年度監査報告〈吉岡理事〉

書類照合審査の結果適正処理を確認との報告承認

#### 4. 会長選出

任期満了に伴う鈴木会長辞任と新会長選出  
 新会長に安部 豊巳氏（聖徳大学）を満場一致で承認

#### 5. 監査選出

任期満了に伴う宮島、吉岡両監査の辞任と新監査  
 選出

新監査に黒住武氏（和洋女子短期大学付属図書館  
 と岡野盛繁氏（東横学園女子短期大学図書館）の  
 2氏を選出・承認

#### 6. 会長推薦理事選出・承認

菅原春雄氏（文教大学女子短期大学部）  
 吉岡磐彦氏（相模女子大学短期大学部図書館）  
 毛利和弘氏（日本経済短期大学図書館）  
 小川禮子氏（女子栄養短期大学図書館）  
 佐々木真理子氏（共立女子短期大学図書館）  
 川井依玖子氏（東京文化短期大学部図書館）  
 平井紀子氏（文化女子短期大学部図書館）

菅原春雄氏（文教大学女子短大部・理事）の司会により開会。まず鈴木英二会長（千葉経済短期大学）が挨拶で次のように述べた。「昨年度の本協議会の活動報告にあたり、会報、紀要（「短期大学図書館研究」、研修、本部事務局の担当がそれぞれ精一杯努力し、会勢も300を越え5分の3の加盟率となった。まだまだではあるが順調に伸びていると言える。そういう中で長年ご指導いただいたもりきよし先生が亡くなりました。会報に何人かの方に先生へのお気持ちを寄せていただいた。あらためてご冥福をお祈りする。本日の議題にもある運営体制の変更に関して私も会長を3期6年つとめたので今回引かせていただく。役員会に伝えてあるので後ほど議題に出ると思う。本日は遠路お集まり下さり有難う存じます」引き続き議事に入った。

議長 室井広一氏（東筑紫短期大学）

記録 川井依玖子氏（東京文化短期大学）

#### 議事1. 平成2年度活動報告（網本理事）

##### ①会勢（平成3年5月30日現在）

北海道地区	18館	(+1)
東北地区	15館	(+1)
関東甲信越地区	99館	(+5)
東海北陸地区	42館	(+1)
近畿地区	72館	(+5)
中・四国地区	29館	(+2)



平塚悦子氏（跡見学園短期大学図書館）

7. 安部豊巳新会長挨拶

「非力で心もとないが、組織として1館1館が協力していただき新会長を助けて欲しい」

8. 平成3年度活動方針・予算案<吉岡理事>

今年度より事務局は置かず各役割ごとに分担で事務処理をおこなうので、時にはご迷惑をかけるかもしれないがご了承願いたい。

- 1) 平成3年度総大会・見学開催
- 2) 全国研修会 日時 テーマ共未定
- 3) 会報29・30号の発行
- 4) 「短期大学図書館研究」第11号の刊行および第12号の編集準備
- 5) 地区活動助成
- 6) 全国理事会および本部役員会の開催・運営
- 7) 「私立短期大学図書館総覧1979」の改訂準備

これらの事業と事業ともなう予算案承認（予算案は別掲参照）

9. その他

会長より当協議会の顧問として鈴木英二前会長と小町エミ子前理事の推薦があり承認された。

理事の役割分担については理事会できめて、会報で報告明示する。常任理事についても同様とする。

ご退任の鈴木英二氏、宮島敬久氏、網本正己氏、安達勉氏に拍手で感謝の意を表す。

10. 質疑応答：なし

見学研修会 — 日外アソシエーツ —

総会終了後、日外アソシエーツの社長大高利夫氏より会社の創設にあたっての経緯と現在の仕事内容の概説をし、つづいて情報部長石井紀子氏よりデータベースBOOKの説明、そのあと参加者は3班に分かれ、社内見学に移り係員より各部署の案内と説明が行われ、最後に各種類のデモを見、質問意見交換し、夕方4:30分頃散会した。  
(菅原春雄)

会長を辞任するにあたって

過日の総会において、私は会長を辞任させていただきました。会長に選任されてから早いもので3期6年がたちました。この間に寄せられました会員の皆さまの暖い励ましと、本部役員の方がたの献身的な御努力、御協力に対して、心から感謝申しあげる次第です。

さて、短大の図書館に限らず、学校における図書館の問題はとりもなおさず教育そのものの問題です。学生・生徒の問題意識を引きおこし、自ら学ぶ意欲の態度の助長とにかく冷淡になりがちな教科書中心・講義中心の教授法に止まる限り、学校に図書館はいらないでしょう。たとえあったとしても、それは単なる資料の集積所に過ぎません。短大の図書館が抱えているさまざまな問題状況も、つまるところ、ここから派生していると思われる。教育が変われば必然的に図書館も変わります。しかしそれを待つのは、百年河清を待つに等しいでしょう。

鈴木英二（千葉経済短期大学）

このような状況のなかで、今、私たちは何をなすべきでしょうか。その第一は、学生の能力・ニーズに合った図書のほか、ビデオ等のメディアも積極的に収集し、学習図書館としての機能が十分に発揮できるようにすること、また学習とは直接関係のない文学書や教養図書等も積極的に収集し、図書館を魅力あるものとする、そのためには図書館員の選書上の裁量権を拡大するとともに、学生の組織的な参画を認める必要もありましょう。

第二に、計画的・体系的な利用教育を積極的にすすめるとともに、レファレンス・サービスの質を高め、学生にはもちろん、将来的には教師にも信頼されるレファレンス・ライブラリアン目ざして努力すること。

以上は、日本的な教育のひずみのなかにあって、短大の図書館として存在するための、よって立つべきところかと思ひます。皆さまの御健闘を祈ります。

平成3年度全国研修会実施要領（概略）

実施年月日 平成3年11月14日（木）・15日（金）

会場 古流かたばみ会館（池袋東口）

内容 ①基調講演 「オンライン・データベースと検索（仮題）」

講師：国文学研究資料館 教授 本田康雄氏

②講義及実習（参考業務と書誌）

テーマ①文学：日本文学を中心に（日本文学も含む）（仮題）

講師 大妻女子大学図書館 安藤 勝氏

②新聞・雑誌記事の検索（仮題）

講師 亜細亜大学図書館 毛利 和弘氏

第1日目終了後 女子栄養大が主宰する松柏軒の料理、セッティングによる懇親会を行なう。

## 平成2年度会計決算及び平成3年度会計予算

## 平成2年度一般会計決算

## &lt;収入の部&gt;

勘定科目	予算	決算	差額	備考
会費収入	2,950,000	3,030,000	80,000	@10,000×303
研修会参加費	810,000	1,056,000	246,000	参加費 728,000 懇親会費他 328,000
雑収入	2,199	26,557	24,358	預金利息 他
前年度繰越金	737,801	737,801	0	
合計	4,500,000	4,850,358	350,358	

## &lt;支出の部&gt;

勘定科目	予算	決算	差額	備考	
事業費	年次総大会	100,000	60,590	39,410	会報27・28号
	全国研修会	810,000	994,755	△184,755	
	会報	300,000	229,300	70,700	
	地区交付金	885,000	909,000	△24,000	
地区助成金	地区助成金	600,000	460,000	140,000	7地区+その他
	I F L A会費	40,000	40,000	0	
会議費	本部役員会	180,000	179,215	785	
	全国理事会	180,000	156,273	23,727	
運営費	交通費	210,000	195,000	15,000	@15,000×13
	消耗品費	70,000	103,041	△33,041	
	通信費	170,000	129,791	40,209	
	事務局費	100,000	100,000	0	
	雑費	120,000	68,695	51,305	
出版会計補填	235,000	235,000	0		
予備費	500,000	0	500,000		
小計	4,500,000	3,860,660	639,340		
次年度繰越金	0	989,698	△989,698		
合計	4,500,000	4,850,358	△350,358		

## 平成2年度出版事業特別会計決算

## &lt;収入の部&gt;

勘定科目	予算	決算	差額	備考
売上収入	330,000	522,480	192,480	7~10号 97冊 書誌 85冊
賛助会員会費	480,000	510,000	30,000	
前年度繰越金	179,210	179,210	0	
出版会計補填	235,000	235,000	0	一般会計より
合計	1,224,210	1,446,690	222,480	

## &lt;支出の部&gt;

勘定科目	予算	決算	差額	備考
発送経費	100,000	64,226	35,774	
印刷経費	1,020,000	1,100,000	△80,000	10号
編集事務費	30,000	30,000	0	
雑費	35,000	7,506	27,494	
予備費	39,210	0	39,210	
小計	1,224,210	1,201,732	22,478	
次年度繰越金	0	244,958	△244,958	
合計	1,224,210	1,446,690	△222,480	

## 平成3年度一般会計予算

## &lt;収入の部&gt;

勘定科目	予算	備考
会費収入	3,080,000	@10,000×308
研修会参加費	810,000	参加費 @10,000×60 懇親会費@7,000×30
雑収入	2,302	預金利息 他
前年度繰越金	989,698	
合計	4,882,000	

## &lt;支出の部&gt;

勘定科目	予算	備考	
事業費	年次総大会	100,000	
	全国研修会	810,000	
	会報	300,000	
地区交付金	地区交付金	924,000	@3,000×308
	地区助成金	500,000	@60,000×7他
I F L A会費	I F L A会費	40,000	
	本部役員会	180,000	
会議費	全国理事会	180,000	
	交通費	210,000	@15,000×14
運営費	消耗品費	80,000	
	通信費	190,000	
	事務局費	120,000	
	雑費	100,000	
出版会計補填	250,000		
予備費	898,000	『総覧』発行積立金等	
合計	4,882,000		

## 平成3年度出版特別会計予算

## &lt;収入の部&gt;

勘定科目	予算	備考
売上収入	340,000	11号 320,000 書誌 20,000
賛助会員会費	550,000	主に広告掲載料
前年度繰越金	244,958	
出版会計補填	250,000	一般会計より
合計	1,384,958	

## &lt;支出の部&gt;

勘定科目	予算	備考
発送経費	70,000	
印刷経費	1,250,000	11号
編集事務費	30,000	
雑費	20,000	切手・文具等
予備費	14,958	
合計	1,384,958	

# 地区活動報告 — 28号以後 —

## <北海道地区>

### ・1991年度総会

新築成った札幌大谷短期大学で8館13名が出席して

下記の通り行われた。

なお、総会に先立って役員会も開催された。

日時：1991年6月4日(火) 14:00-16:00

会場：札幌大谷短期大学

- 議事：(1)1990年度活動報告(承認)  
 (2)1990年度決算報告、監査報告(承認)  
 (3)1991年度活動方針(承認)  
 (4)1991年度予算案(承認)  
 (5)1991年度役員改選(承認)  
 (6)報告

### ・1991年度役員

- 顧問 坂本 龍三(北海道武蔵女子短期大学教授)  
 会長 柴田 泰(札幌大谷短期大学図書館長)  
 幹事 柴田 浩一(北海道女子短期大学図書館長)  
 坂本元太郎(北海道武蔵女子短期大学図書館長)  
 黒川 武(北星学園女子短期大学図書館長)  
 監査 小池 勝也(小樽女子短期大学図書館長)  
 小林 純幸(静修短期大学図書館長)  
 事務局 札幌大谷短期大学図書館

札幌市東区北16条東9丁目  
 TEL(011)741-3681 742-1651(内130)  
 FAX(011)741-3853

- ・未加盟館の加入依頼(8館)……大学併設館にも依頼  
 ・研修会予定

日時：1991年8月30日  
 会場：札幌大谷短期大学  
 内容：(1)情報交換および相互協力対策  
 (2)新築図書館見学(3館)

## <東北地区>

私立短大図書館東北地区協議会は、下記日程により、平成3年度総会並びに研修会を開催することになった。

日時 平成3年9月7日(土) 13:30-16:30  
 会場 尚絅女学院短期大学 大会議室  
 I 総会 13:35~14:20

- 議題 1. 平成2年度会計報告・監査報告  
 2. 平成3年度理事会報告  
 3. 平成3年度事業計画・予算案  
 4. その他

講演 「図書館の将来計画について」

—ひとつの経験を踏まえて—

小川圭治尚絅女学院短期大学々長

(休憩)

II 研修会 14:30-16:30

デモンストレーション

J-BISC ビブリオファイル

## <関東甲信越地区>

平成2年 12月4日 関東甲信越地区協議会会報第12号発行

平成3年 2月13日 第4回幹事会(目白学園総合図書館)

- 議題 ①雑誌リストについて  
 ②役員改正について③名簿の件④その他

3月19日 第5回幹事会(目白学園総合図書館)

- 議題 ①雑誌リストについて  
 ②総会について③見学会について④その他

5月2日 第1回幹事会 総会開催について(目白学園総合図書館)

6月3日 総会(東横学園女子短期大学図書館)

- 議題 ①活動報告 ②決算報告 ③役員改正 ④活動計画 ⑤予算案

見学会 国文学研究資料館

3日 第2回幹事会 ①合宿研修会について ②総会反省会

1991年研修会開催要項

共通テーマ：「21世紀の図書館を語る—特にネットワークに関連して—」

10月14日(月)

受け付け 13時00分—(現地集合)

研修会 13時30分—16時30分

(内容) 1、講話 毛利和弘氏(日本経済短期大学図書館)

テーマ：短期大学の設置基準改正と今後の図書館動向

2、パネルディスカッション

- パソコン通信を主としてネットワーク化を語る(若月博雄氏、東横短大)
- 地域でみる相互協力の実情(安達 勉氏、実践女子大学図書館)
- 短大冬の時代とネットワーク化(上沢田浩氏、聖学院大学図書館)

## 3、自由討議(1)

4、懇談会 18時00-19時30分

自由討議(2) 20時00分-(21時30分以降は任意参加)

10月15日(火)

教養研修(史跡探訪) 9時00分-14時00分

会 勢 99

## &lt;東海・北陸地区&gt;

## 1、平成3年度第1回幹事会

日時:平成3年4月26日(金)AM11:00-PM3:00

場所:名古屋短期大学附属図書館

出席者:10校16名

- 議題:(1)平成2年度事業報告・決算および監査  
 (2)平成3年度事業計画案・予算案について  
 (3)平成3年度総大会について  
 (4)平成4年度総大会会場校について  
 (5)平成6・7年度会長校について  
 (6)私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会  
 会則改正について  
 (7)研修・会報委員会  
 (8)その他

## 2、平成3年度第2回幹事会

日時:平成3年6月20日(木)AM9:30-PM10:00

場所:東海女子短期大学

出席者:10校17名

- 議題:(1)平成3年度総大会議事運営について  
 (2)平成6・7年度会長校について  
 (3)研修・会報委員会  
 (4)その他

## 3、平成3年度総大会

日時:平成3年6月20日(木)AM10:00-PM4:00

場所:東海女子短期大学

出席者:28校51名

## &lt;総会&gt;

会長(名古屋短期大学図書館長) 神保登代先生、東海女子短期大学図書館長、松見弘道先生の開会挨拶に続き、議長に、高山短期大学図書館長 島倉省吾先生を選出し、議事に入る。

議事

## I、会勢報告

豊田短期大学 加盟により42館

## II、承認事項

- a 平成2年度事業報告および決算報告…承認
- b 平成3年度事業計画および予算案 …承認

## III、報告事項

- a 北陸部会活動報告(星稜女子短期大学)

## IV、審議事項

- a 平成4年度総大会会場校について  
(名古屋自由学院短期大学に決定)
- b 平成6・7年度の会長校について  
(北陸学院短期大学に決定)
- c 私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会  
会則改正について  
事務局より、改正案(9条、会議)・内規の  
改正(5条、会計監査)について提案・説明  
があり、原案どおり承認された。  
なお、改正後の会則を、会報23号(平成4  
年3月発行予定)に掲載することとした。
- d その他

## &lt;講演会&gt;

「中国の図書館を演題として、東海女子短期大学  
教授 松見弘道先生が、昨年(1990)8月に派遣、  
訪問された武漢大学図書館情報学院を中心に、スラ  
イドを使用して講演された。

## &lt;見学会&gt;

講演会終了後、図書館見学・記念撮影・昼食。チ  
ャータしたタクシーに分乗して岐阜公園へ到着。岐  
阜城(太閤記・国盗物語の城)・歴史博物館へ、ロ  
ープウエーで往復。もとの公園内を散策しながら、  
名和昆虫博物館・加藤栄三・東一記念館等、(途中  
立礼茶席で休憩)盛り沢山な見学を終え、午後4時  
過ぎ、すべての日程を終了。

## &lt;近畿地区&gt;

## &lt;1990年度事業計画&gt;

- 1. 1月31日(木)見学会  
羽衣学園短期大学図書館

## &lt;1991年度事業計画&gt;

## 事業計画 1

- 1. 1991年5月25日(土)  
総会・第1回研修会
- 2. 7月18日(木)大阪外国語大学図書館  
視聴覚センター見学
- 3. 9月 第2回研修会(内容未定)
- 4. 10月 第3回研修会(内容未定)

## 5. 11月～12月 第4回研修会

(内容未定)

事業計画 2 雑誌目録改訂版発行

事業計画 3 「相互利用」について

## &lt;新加盟館紹介&gt;

関西女子短期大学部図書館

京都短期大学図書館

東大阪短期大学付属図書館

大阪明浄女子短期大学図書館

近畿地区加盟館72館 (96館中、75%)

1991年7月18日現在

## &lt;協議会脱退&gt;

京都芸術短期大学図書館

## &lt;1991年度総会&gt;

1991年度役員

会長館 大阪女学院短期大学図書館

(坂本恭子)

幹事館 大阪女子学園短期大学図書館

(坂上恵子)

幹事館 羽衣学園短期大学図書館

(布川嘉佑)

幹事館 プール学院短期大学図書館

(北本美千子)

監査館 堺女子短期大学図書館

(糸永敏子)

## &lt;第26回研修会&gt;

日時: 1991年5月25日(土)

午後2時30分～午後4時

場所: 大阪女学院短期大学

日時: 1991年5月25日(土) 午後1時30分～午後

2時30分

場所: 大阪女学院短期大学

参加館: 33館 44名

会長館挨拶: 大阪女学院図書館長 岡本言行

議長選出: 谷嶋正彦氏

(大阪信愛女学院短期大学図書館)

## 議題

1、1990年度会勢・活動報告

2、1990年度決算報告書

3、1990年度監査報告

4、1991年度新役員

5、1991年度事業計画案

6、1991年度予算案

7、その他

参加者: 加盟館 34館 48名

講演 「無料制について」

講師 天満 隆之輔氏(羽衣短期大学教授)

## &lt;第27回研修会&gt;

日時: 1991年7月18日(木)

13:00～16:00

場所: 大阪外国語大学図書館

視聴覚センター

参加者: 加盟館 32館 46名

未加盟館 3館 5名

合計 35館 51名

## &lt;幹事会&gt;

1990年度

第6回1991年4月11日10:00～15:00

第7回1991年5月15日14:30～17:00

第8回1991年5月20日9:30～12:00

## &lt;雑誌目録編集委員会&gt;

第1回1991年7月4日14:30～17:00

## &lt;中国・四国地方&gt;

A・平成3年度総会・研修会(第6回)開催

日時: 平成3年4月25日(木) 12:00～17:00

会場: 広島ガーデンパレス

参加: 16館24名(委任状11館)

## 報告事項

(1)、経過報告

(2)、平成2年度会計報告

(3)、新加盟館紹介・挨拶……順正短期大学図書館、広島女子商短期大学図書館。

## 審議事項

(1)、平成4～5年度会長館、幹事館、監査館の選出、三役の候補館は当番県(愛媛県)内加盟館(4館)から選出する申し合わせになっていたが、小規模館の実情も考慮して、四国ブロックの加盟館から選出することの必要性が提案され、審議の結果、「三役は四国ブロックの加盟館(11館)で協議して選出し、現会長に報告された館をもって総会の決議とする」と、満場一致で承認された。

(2)、総会・研修会の今後のあり方

従来通り、「総会」と「研修会」を同時開催することが承認されました。

(3)、その他

イ)三役館から加盟館への連絡用に5000円のテレフオンカードを購入する。残りは次期当番館にまわすということが承認された。

ロ)会長館が全国理事会へ出席する際の、旅費、宿泊費(国家公務員の甲地・乙地適用)支給が承認さ

れた。

ハ)積極的な研修活動について、継続審議することとした。

## 研修会

1、講演「AV資料の現状と将来」——堀江良幸氏  
わかり易くまとめられた豊富な資料に基づいて、AV資料の種類、特性、取り扱い方法、問題点等、更に将来のAV資料と、それを扱う図書館および図書館員の対応の仕方について講演された。

## 2、承合事項

予め加盟館からアンケート調査を行い、その資料に基づいて質疑応答した。

(1)、図書館の機械化(コンピュータ化)の現状について

機械化を進めていても予定通りに稼働しないことなどについて討議され、今後導入する館は、導入の目的を明らかにした上で行う方がよいという意見が出された。

(2)、図書館移転準備について

詳細がアンケートの回答にあるので、主目的は果たしたとして、AV室の設置かAVコーナーかという現状報告と理想が討議された。

## B、平成4～5年度の役員館選出について

現在検討中。

## ＜九州地区＞

◎平成3年度総会ならびに研修会が、下記の通り開催された。

日 時 平成3年4月25日(木) 13:30～18:00

会 場 『南国グランドホテル』(鹿児島県鹿屋市)

出席館 19館+1館(オブザー) 欠席館 12館

参加者 39名

[総会]

＜議長＞鹿児島純心女子短期大学図書館長 芳 即正氏

＜報告＞平成2年度事業・決算・監査

＜審議＞平成3年度予算・事業計画

来年度当番館(九州大谷短期大学を選出)

＜協議＞a)『故もりきよし氏を偲ぶ会』(JLJA)に弔意を表す。当日出席予定者、鹿児島短期大学図書館長伊藤松彦氏に託す。

b)九州大谷短期大学主催『情報提供機関としての図書館の未来を考えるシンポジウム』の後援決定。

c)『九州地区大学図書館協議会』の短大都会編集委員選出

(後日決定—筑紫女学園短期大学)

[研修会]

＜研究発表＞

1、『九州地区音楽図書館の現状と問題点』

鹿児島短期大学 相良 長宜氏

2、『鹿児島県関係者資料収集について』

鹿児島女子短期大学 窪蘭 夏枝氏

3、『本学における文庫本主題分類の試みについて』

筑紫女学園短期大学 原野 綾子氏

4、『図書館の地域開放を実施して』

佐賀女子短期大学 永田 由美子氏

5、『電算化その後—実情紹介—』

熊本短期大学 井上 実氏

＜承合事項＞

1、購入図書費の会計処理の方法について

(近畿大学九州短期大学)

2、書籍・雑誌その他の除籍・廃棄処理の基準、又は方法について

(銀杏学園短期大学)

3、蔵書点検の方法について

(西日本短期大学)

4、図書館職員の内部研修について

(鹿児島短期大学)

5、オンラインデータベースの利用状況と将来計画について

(福岡女学園短期大学)

＜実情交換＞

1、寄贈図書・雑誌等の古いもの、重複しているものの対処方法

(銀杏学園短期大学)

2、視聴覚資料の保管、利用の方法

(九州女学院短期大学)

3、コンピュータ導入について

(九州女学院短期大学)

◎見学会 4月26日(金)

鹿児島市内の短期大学(鹿児島女子短期大学・鹿児島短期大学・鹿児島純心女子短期大学)

◎新規加盟館 5月21日 1館あり 東海大学福岡短期大学

原稿募集—「短期大学図書館研究」第12号—

「短期大学図書館研究」第12号原稿を募集しています。

今号は「もりきよし先生記念論集」といたします。

図書館に関する研究論文、日常業務に関する調査報告書誌、文献目録、索引、その他短期大学図書館についての情報、ニュース等会員の皆様のご投稿をお待ちします。

原稿枚数：指定原稿用紙(22×15字)30枚前後

原稿締切：平成4年1月末日

送付宛先：〒170東京都豊島区駒込3-24-3

女子栄養短期大学図書館 小川禮子

電話 03(3576)2130(直通)

なお、詳しい原稿募集要項、執筆要項は、同誌第11号の巻末をご参照ください。



## ◇◇◇ 会員校の声 第13回 ◇◇◇

## 各地区の世話役館を引き受けましょう！

皆さんの地区では世話役館の引受け手がなくて苦勞されていませんか？どこの館でもわずかの年数でよければ気持ちよく引き受けましょう。そうすると思いがけない収穫があります。色々と教えられる事が多く、あなた自身の成長と、貴館の発展に役立ちます。私の館では世話役館を引き受けて2年目です。九州地区では輪番制で2年交替です。いよいよ順番が近づいた頃、実は私は逃げたいばかりの重い気分でした。経験不足と能力不足のためです。そのことを前任の熊本短大の方に正直に打ち明けて相談しましたところ、ノウハウを教えて下さるとのこと、思い切って引き受けると、さっそく宅急便が届き、中から過去2年間の発来信のファイルと仕事日誌が出て来ました。「欲しいだけコピーしなさい」と。私は感激しました。その後もわからない事があるたびに電話で教えを乞いました。

先般の地区研修会開催の時は、当番館の鹿児島純心女子短大の方に色々と教えていただきながら準備をしました。自分で判断できない時は、各ブロックの幹事館に相談したり、本部の先生方に教えていただきました。

◎これは第一のヤクトク（役得）といえるでしょう。地

東筑紫短期大学図書館 森田 清恵  
区の世話役館を引受けただけで、多くの他館の方々と親しくなり、知らなかったノウハウを随分学ぶ事ができました。きっと将来にわたって役立つ事でしょう。

◎第二のヤクトクは、県外出張が例年より回数多く認可された事です。『今年度は世話役館のため必要』と書いて申請しました。すべて良い研修になりました。

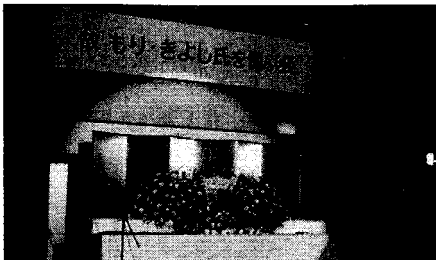
◎第三のヤクトクは他館の方々とのお話が日常業務に及び他館の長所を知り、自館の悩み解決や改良の糸口を見い出せた事です。

本部では全国300以上の加盟館のために世話をして下さっています。皆さんたいへんな負担とお察しします。目的は私たち全国の短大図書館のレベルを上げるためです。各地区の世話役館は地区のお世話をしながら一足先に自館のレベルアップができます。私はいくつかの失敗もしましたが、その度に皆様に助けられ、お許しいただき感謝しています。任期満了まであと半年です。各館の皆様も、すすんで世話役館を引き受けて下さい。また世話役館から相談を受けたら出来る限り手伝ってあげましょう。そしてお互いの館を成長させましょう。そうすれば全国の短大図書館が発展することでしょう。

## 平成3年度地区理事紹介

北海道地区	柴田 泰	(札幌大谷短期大学図書館) ☎011-742-1651
東北地区	山形 潔子	(尚絅女学院短期大学図書館) ☎022-383-0160
関東甲信越地区	毛利 和弘	(日本経済短期大学図書館) ☎0422-54-3111
東海・北陸地区	神保 登代	(名古屋短期大学図書館) ☎0562-97-1306
近畿地区	坂本 恭子	(大阪女学院短期大学図書館) ☎06-761-9371
中・四国地区	宇根 洋子	(広島女学院大学短期大学図書館) ☎0822-28-0386
九州地区	室井 広一	(東筑紫短期大学図書館) ☎093-561-2136

## “故もり・きよし氏を偲ぶ会” 催される



去る5月30日午後6時30分より東京・アルカディア市ヶ谷に故もりきよし先生を偲んで100名の方たちが集まった。日図協理事長高橋徳太郎氏の開会挨拶に続いて先生とご縁の深かった方々の追悼のことばがあり、NDCの生まれる頃のこと、お人柄を偲ばせるエピソードなど参会者にとってとても興味をひかれるお話だった。

本協議会の会長、日図協短大図書館部会長等を歴任されたこともあって短大図書館関係者も多く北海道から九州から参集して先生の人望の厚さを思わせた。

献杯、歓談、ご遺族の挨拶と時間も経って花とコーヒーに囲まれた先生とお別れした。

## 短大図書館めぐり 一第24回一

## 大垣女子短期大学図書館

## 大学の入口正面が図書館



幾つかの偶然と偶然が重なり絡みあって、一つの必然を形成する。大学の入口正面に図書館がおさまる過程も三度目の移転

であるだけに、紆余曲折をたどった。図書館は、開学時期にはキャンパスの西隅教室、10年後の移築では、東北隅の研究室棟と併設であった。

1987年9月上旬、年に1度丸1日かけて検討する夏季課内研修会議で「3年後の1990年4月には書架が満杯となる」問題が提起された。当時、約1万冊分の収納余裕しか無かったのである。

早速、図書館として増設計画を理事会に提案した。折しも学内事情では学生食堂が、手狭になっていた。年が明けて、'88年2月、キャンパス前面の駐車場を移転させた跡地に、学生会館と共同棟とする建設案が提示されてきた。利点として「市民に開かれた図書館」には好都合であるが、前面道路を隔ててキャンパスから離れることは、学生の利用上問題があると指摘し、現行図書館を拡張する対案を学長に提言した。その後、前面道路が都市計画道路として拡幅される予定とも重なり、前面駐車場跡地移転案は撤回された。

翌3月、評議員会は、「創立20周年記念館の建設」を議決した。建設位置は、中央に当る学生ホール・食堂の跡地であった。前々から「図書館はキャンパスの中心が望ましい」と主張してきた館員にとって位置としては異論が無かった。ただし、1階=学生ホール・食堂、2階=図書館、3階=多目的ホールという構想に、こだわった。早速、名古屋大学医学部図書館を調査した。この館は、学生食堂の2階に位置していたからである。やはり、厨房の臭気はただよってくるし、階下の自動販売機から缶ジュースなどが持ちこまれ、床を汚すこともある等諸問題を知った。

この段階で、図書委員会は、学長に「再検討を要する旨の意見書」を提出している。しかし一方で、図書館建築の専門家である図書館情報大学の植松貞夫先生に何かと教えを願った。ところが、プロの意見は、学生が集まる食堂やホールの上部は、学生利用の面から位置として

悪くはない。第2に、建築技術の発達は、防臭、防湿が可能であり、東大医学部の図書館も学生食堂の上部に位置しているとのことであった。位置・構造が可となれば残る問題は、今後とも増加し続ける図書の収納スペースの確保であった。

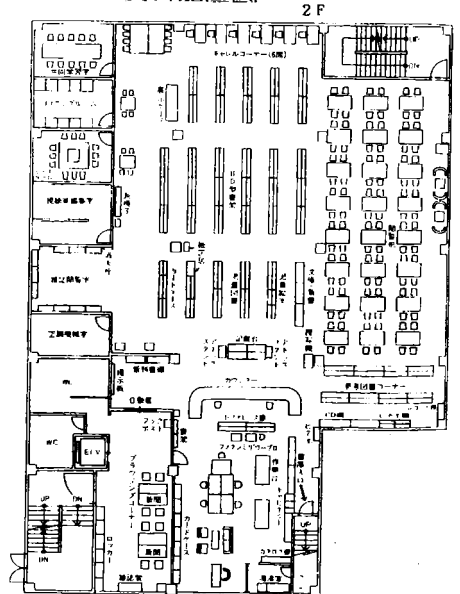
理事会構想では、図書館は20周年記念館の2階部分に当初、限られていた。図書委員会は、「館の中心にゆとりを持って書架を配する中置き書架方針を採用したいので、これから将来20年間持ちこたえるには、現計画の1.5倍の面積が必要である」と要望を提出した。これが認められ、結局3階の多目的ホールを縮少し、代って開架の積層書架が収まることとなった。3階書庫には、歴年の政府刊行物をはじめ、製本雑誌、新聞綴・縮刷版等のスペースが確保されたのである。

続いて、「視聴覚コーナー全面オープン・システム案」に対し、図書館学生モニターから「ビデオ、CD鑑賞コーナー及び共同学習室は、それぞれガラス張りでよいか専用室にしてほしい」との要望が出された。図書委員会は、学生の意見を尊重し、「図書館だより」に掲載した。学生の希望は叶えられた。

こうして1989年4月、以降20年間の展望をもって新館をオープンすることが出来た。新館は、キャンパスの正面、中央記念館に位置したことにより、1991年4月の学生利用調査によれば、館外貸出資料数および学生1人当たり貸出資料数は、ともにほぼ倍増を果したのである。

(木村一夫)

図書館内資料配置図





—— 私立短期大学図書館協議会加盟館一覽・追補 ——

北海道地区<19館>

○新規加盟

光塩学園女子短期大学図書館

〒005 札幌市南区真駒内上町 3-1-1

TEL 011-581-0121

函館短期大学図書館

〒042 函館市高丘町 52-1

TEL 0138-57-1800

東北地区<15館>

○新規加盟

岩手女子看護短期大学図書館

〒020-01 岩手県岩手郡滝沢村大釜字千ヶ窪 14-1

TEL 0196-87-3864

関東・甲信越地区<99館>

○新規加盟

東京家政学院筑波短期大学付属図書館

〒305 つくば市吾妻 3-1

TEL 0298-58-4811

佐野女子短期大学図書館

〒327 佐野市高萩町 973

TEL 0283-21-1200

埼玉女子短期大学図書館

〒350-13 狭山市上広瀬 2011

TEL 0429-53-1515

江戸川女子短期大学図書館

〒270-01 流山市駒木一番割 474

TEL 0471-52-0661

川村短期大学図書館

〒171 豊島区目白 2-22-3

TEL 03-3984-8321

東京女子体育短期大学図書館

〒186 国立市青柳谷川上 620

TEL 0425-72-4131

○学名変更

國學院大學栃木短期大学→國學院短期大学

○館名変更

常磐学園図書館→常磐大学総合情報センター

東海・北陸地区<42館>

○新規加盟

豊田短期大学図書館

〒471 豊田市太平町七曲 12-1

TEL 0565-85-3131

瑞穂短期大学図書館

〒467 名古屋市長瀬区春敲町 2-13

TEL 052-882-1811~6

近畿地区<72館>

○新規加盟

滋賀文化短期大学図書館

〒527 八日市市布施町 29

TEL 0748-22-3388

京都短期大学図書館

〒620 福知山市字堀 3,370

TEL 0773-22-5852

藍野学院短期大学図書館

〒567 茨木市東太田 4-5-4

TEL 0726-27-1711

大阪明浄女子短期大学図書館

〒590-04 大阪府泉南郡熊取町大字大久保1216-1

TEL 0724-53-8222

関西女子短期大学図書館

〒582 柏原市旭ヶ丘 3-11-1

TEL 0729-77-6561~2

東大阪短期大学付属図書館

〒577 東大阪市西堤学園町 3-1

TEL 06-782-2884

○退会

京都芸術短期大学図書館

中国・四国地区<29館>

○新規加盟

広島女子商短期大学図書館

〒731-43 広島県安芸郡坂町 10680番地

TEL 082-884-1212

九州地区<32館>

東海大学福岡短期大学図書館

〒811-41 宗像市田久字松ヶ浦 1137

TEL 0940-33-1177

○学名変更

扇城学園中津女子短期大学→東九州女子短期大学